

取扱説明書

はじめに

○この取扱説明書は、安全にご使用いただくために重要な注意事項及び取扱い方法について記載しています。ご使用になる前に必ずお読みになり、十分理解してからご使用下さい。
 ○この取扱説明書は読んだ後もすぐ確認出来るように大切に保管して下さい。 ○！印を付記した項目は、安全上、特に重要ですから必ず守って下さい。

！ 注意

- 吹付け作業時には塗装ブース等を使用し、換気と火気に十分ご注意ください。換気が不十分な場合、有機溶剤による中毒や引火の危険性があります。
- 最高使用圧力以上の使用は絶対に避けて下さい。最高使用圧力：0.69Mpa (7 kgf/cm²)。●人体にむけてスプレーしないで下さい。
- 吹付け作業時には適切な服装またはマスク、眼鏡等の保護具を着用して下さい。
- スプレーガンに塗料カップ、空気ホース、塗料ホースを接続する時は、工具を使用して確実に取り付けて下さい。

使用方法

- 1) スプレーガンの塗料ニップルに塗料カップを工具を使い取り付けて下さい。
- 2) コンプレッサーからの空気ホースをスプレーガンの空気ニップルに、工具を使用して取り付けて下さい(塗料の粘度、性質により吹付けの条件は異なりますが、スプレーガンの手元での圧力は0.1～0.25Mpaが適当です)。
- 3) 塗料カップに吹付けに適した粘度の塗料を入れて下さい。
- 4) 塗料調節つまみを回して塗料の噴出量を、パターン調節つまみを回して吹付けパターンを調整して、吹付け作業を行って下さい。

使用上の注意

- ※実際に吹付けをする前に別の物に吹き掛けて、吹付けたパターン形状が正常かを確認してから作業を行って下さい(右図参照)。
- ※スプレーガンと被塗物との距離は、だいたい10～25cmが適当です。
- ※スプレーガンの引き金は2段引きになっています。1段目でエアーが、2段目で塗料が出ます。
- ※エアードライヤーやエアフィルターを通したきれいな圧縮空気を使用して下さい。
- ※空気ホースは耐圧規格に合った物を使用し、古くキズ等で傷んだホースは使用しないで下さい。
- ※購入後初めてご使用の際は、シンナーで塗料回路を洗浄してからご使用下さい。
- ※製品の改造はしないで下さい。

使用後の保守・点検

- 1) 吹付け作業終了時、塗料カップ内に残った塗料は他の容器に移して下さい。
- 2) 少量のシンナーを塗料カップに入れ、塗料カップ内面に付着した塗料を溶かし、吹出して下さい。
- 3) 2)の作業を繰り返して行い、塗料回路内を洗浄して下さい。
- 4) ニードルセット、空気キャップ、塗料ノズルの順で外し、溶剤に浸して洗浄して下さい。塗料ノズルの着脱には、付属の工具を使用して下さい。
- 5) スプレーガンの各部に付着している塗料の洗浄は、シンナーを浸したブラシで行い、ウエス等でふき取って下さい。
- 6) ニードルパッキングの締め具合を調節する時は、ニードル弁がスプレーガンに入っている状態で、少しずつニードルパッキング押えネジを締めに行って下さい。
- ※塗料ニップルは、外さないで下さい。本体と一体になり、継ぎ目の無い状態になっています。

保守・点検上の注意

- ※吹付け作業が終了したら、速やかに洗浄して下さい。また洗浄時には必ずきれいな溶剤を使用して下さい。
- ※空気キャップ、塗料ノズル、ニードル弁セットはスプレーガンの心臓部です。キズを付けない様に注意して洗浄して下さい。
- ※洗浄は、吹付け作業時と同様に換気と火気に十分注意して行って下さい。
- ※スプレーガン全体をシンナー等の溶剤に浸さないで下さい。
- ※空気回路内に溶剤が入らない様に注意して洗浄して下さい。またガンウォッシャーをご使用の場合には、空気ニップルにカバーを付けてご使用下さい。

◎品質向上の為、予告なく部品、仕様変更することがありますのでご了承下さい。

◎自動補修など、ガンとの角度を変えて吹付けることが多い作業には、ベントカップの角度が自由に変えられる弊社フリーアングルベントカップをお薦めします。

仕様詳細(吹き付ける材料、圧力、気温等で多少数値は変化します)

塗料ノズル口径 (mm)	吹付手元空気圧力 (Mpa)	吹付距離 (mm)	空気使用量 (l/min)	塗料噴出量 (ml/min)	パターン幅 (mm)	質量 (g)
1.1	0.1	150	110	78	170	320
1.3				138	210	
1.5	0.2		150	155	250	

最高使用圧力：0.69 Mpa 所要圧縮機：0.75～1.5 Kw

恵天(KEITEN) 分解部品名称図

(部品の発注の際は、この分解部品名称図の番号と名称を基にして下さい)

